

(仮称) 地域交流センター整備基本計画

平成 30 年 12 月
十和田市

目次

1 章 建設地の概要	1
1. 基本要件	
2 章 敷地利用計画	2
1. 配置計画	
2. 平面計画	
3 章 施設基本計画	3
1. 求められる機能	
2. 付帯機能	
3. 構造計画	
4. 設備計画	
4 章 具体化に向けて	5
1. 概算工事費	
2. 財源計画	
3. 事業スケジュール	

1 章 建設地の概要

1. 基本要件

建設地の基本要件は以下のとおり。

所在地	十和田市稲生町 146-1 ほか
敷地面積	2,619.55 m ²
地域地区	商業地域 準防火地域
建ぺい率/容積率	最大 90% (80%+10%) /400%
前面道路	西側：国道 102 号 20m 北側：市道大学通り線 11m
日影規制	なし
道路斜線	勾配 1.5 L=31
隣地斜線	立上り 31m 勾配 1.5
北側斜線	なし
開発許可申請	区画の変更や、盛土・切り土等がないため該当しない
電波伝搬障害	抵触しない
周辺地図	 A site location map showing the project site (shaded blue) in a residential/commercial area. Landmarks include auショップ十和田, 十和田郵便局, 生きがい十和田, 谷村食堂, ローソン 十和田官庁街通店, 青森銀行十和田支店, アートステーショントワダ, 居酒屋現代, and 十和田商工会館. A compass rose indicates North (真北).

2章 敷地利用計画

「みちのく銀行旧稲生町支店活用方針」を踏まえ、導入施設の機能等を念頭に配置計画、平面計画を設定する。

1. 配置計画

- ・敷地形状（2方向道路）から出入口を図示の様に計画する
- ・敷地規模から、駐車スペースは身障者用のみを整備し、一般車両は周辺の駐車場等を利用する。なお、送迎車や搬入車の一次的な停車を目的とした駐車帯を確保する
- ・アートの展開を視野に入れたモニュメントの設置及び多目的に活用できる広場を確保する
- ・無落雪等を考慮した屋根形状とする
- ・市道大学通り線の改良を考慮し、建物の配置を計画する

2. 平面計画

- ・イベントや交流活動等を想定した施設内の導線に配慮するとともに、利用者の安全を確保する
- ・駐車場から建物までの導線、展示物、資材等の搬入導線等を考慮し計画する
- ・積雪、雨排水、日影、電波障害等、周辺地域を考慮した形状及び高さに計画する

3章 施設基本計画

施設機能については、「みちのく銀行旧稲生町支店活用方針」を基に、市民のニーズ等を踏まえた機能を加える。なお、内容・規模等の詳細は基本設計の段階において検討、調整を図るものとする。

1. 求められる機能

- ・ 子どもから高齢者まで誰もが気軽に利用でき、交流の場となる多目的ホール、会議室
- ・ 各種展示、イベント等を開催し、地域活性化の拠点となる展示場、ギャラリー
- ・ 市民の余暇活動や生涯学習などの場となる活動スペース、スタジオ
- ・ 市民と観光客等の新たな交流を創造する拠点施設
- ・ 施設の長寿命化、維持管理に配慮するとともに、変化に対応可能な仕様の施設
- ・ バリアフリーを念頭に、安全性と快適性を兼ね備えた施設

1) 大ギャラリー

- ・ 絵画、写真等のアート作品展示、大型映像装置を活用した企画展及び情報発信、講演会、トークイベント等に利用
- ・ 可動間仕切り等により、中ギャラリーと一体的な活用が可能な構造とする

2) 中ギャラリー

- ・ アート作品の展示、音楽・ダンス等のイベント、セミナー等に利用
- ・ 利用人数等に応じて大ギャラリーと一体的な活用が可能な構造とする

3) 小ギャラリー

- ・ アート作品の展示、食関連イベント、研修会や市民のサークル活動等に利用
- ・ 小ギャラリーは利用人数等に応じて一体的に活用可能な構造とする

4) 創作室兼バックヤード

- ・ 市民の創作活動、ワークショップ及び各種企画展・イベント時の作業や作品保管等に利用

5) カフェ・休憩スペース

- ・ 市民相互の交流の場、また、市民と観光客等との交流の場として利用

6) キッチンスペース

- ・ 食関連イベントにおける調理空間及び市民のサークル活動等に利用

2. 付帯機能

1) 事務室

- ・ 職員5名程度により事務室空間として利用
- ・ 廊下、カフェ・休憩スペースに面したカウンターを配置し、総合受付機能を付加する

- 2) 応接室
 - ・ 来客等への対応空間として利用
- 3) 会議室（大・小）
 - ・ 会議室としての他、ミーティング等に利用
- 4) 倉庫
 - ・ 求められる機能に対応した器具、備品等を収納
- 5) トイレ
 - ・ ユニバーサルデザインを取り入れた多目的トイレを設け、誰もが使いやすいよう配慮
- 6) シャワー室
 - ・ 創作活動や各種企画展・イベント時の作業の際に利用
- 7) 廊下・風除室
 - ・ 各部屋への通行及び出入りに利用。車いす利用者が通行できる幅員を確保する
 - ・ 風除室は、主に冬期間の出入口として利用

3. 構造計画

- ・ 地盤、基礎形状は、地質調査（ボーリング調査）を基に計画する
- ・ 施設規模は 1,000 m²～1,100 m²とし、構造形式や構造種別、工法等は、安全性と経済性に配慮したうえで、最も適したものを採用する

4. 設備計画

- 1) 電気設備
 - ・ LED 照明を採用するなど、省エネルギー・長寿命化に配慮した設備とする
- 2) 空調設備
 - ・ 構造計画に基づき冷暖房効率に配慮するとともに、個別操作が可能な設備とする

4章 具体化に向けて

1. 概算工事費

概算工事費は、建築費、機械設備費等の見積りと類似施設費の事例を参考にして算出したものであり、今後の建設物価や社会動向により変動する可能性がある。なお、具体的な事業費は、基本設計及び実施設計の段階において精査、積算する。

【内訳】






区分	概算工事費	項目
建設費	487,971 千円	参考見積等による
外構工事費	10,760 千円	〃
小計	498,731 千円	
合計（税込）	548,604 千円	

2. 財源計画

主な財源としては、国庫補助事業である「社会資本整備総合交付金」、「合併特例債」及び「地域振興基金」を活用する。

3. 事業スケジュール

平成 32 年度の完成を目標とする

	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
基本計画			
調査委託			
基本設計・実施設計			
地質調査			
既存施設解体			
建設工事			